

# 各地からの便り

「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

## 占冠村「人材育成プログラム」を支援【上川南部森林管理署】

占冠村では平成 28 年度から林業六次産業化事業を進め、その担い手を育成するため「育成プログラム」を実施しており、当署からも技術指導等において連携を図り支援しています。平成 29 年 12 月 4 日（月曜日）に室内研修及び現地研修に協力しました。



室内研修では山崎署長による研修の趣旨の説明や当署担当職員による人工林の間伐等について講義を行いました。現地研修では、国有林のトドマツ人工林の列状間伐の作業地に移動し、チェーンソーによる伐倒作業とプロセッサによる枝払い・玉切り作業の見学を行いました。研修生から多くの質問があり、関心の高さが伺えました。

## 道産カラマツを使用した CLT 工事見学会【北海道森林管理局】

平成 29 年 11 月 22 日（水曜日）、知内町が開催した「しりうち地域産業担い手センター工事見学会」へ当森林管理局職員も出席しました。同センターは町産材カラマツを協同組合オホーツクウッドピアで加工したカラマツ CLT パネルを用いて建設された研修・宿泊施設であり、全国初のカラマツ CLT 住宅となります。

材料の調達から加工まですべて道内で実施する、オール北海道産であることから、道内における林業・木材産業の成長産業化への貢献が期待される取組です。



## 一貫作業システム現地検討会を開催しました【十勝東部森林管理署】



平成 29 年 11 月 7 日（火曜日）、今年度初めて「一貫作業システム」を導入し、伐採から地拵までを一括で契約した箇所（芽登地区国有林）において現地検討会を開催しました。十勝総合振興局や近隣の市町村、森林組合等からも参加いただき、計 57 名の参加者となりました。

当署担当者から、伐採・搬出後に直ちに地拵えを行い作業の効率化と労働強度の軽減を図る一貫作業システムについて説明しました。ほかにも列状間伐のメリットの説明や大型機械による地拵作業の実演を行いました。